

世界史 B

1 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

前8世紀頃、ギリシア人のなかに、ポリス^(a)と呼ばれる定住形態が生まれ、やがて都市国家へと成長した。ポリスのギリシア人は交易活動に乗り出し、地中海や黒海の沿岸各地に母市にならった植民市を建設した。前7世紀に貨幣が用いられるようになると、商工業が発達し、富裕になる市民が現れた。彼らは自費で武器を調達して（ 1 ）歩兵となり、ポリスの軍隊の主力をなした。富裕市民が生まれる一方、負債のために奴隷に転落するものも多かった。奴隷は、自由身分を失ったもので、こうした債務奴隷の他、戦争捕虜などからなり、彼らは生産労働に駆り立てられた。こうして貧富の差が広がるばかりだったので、ポリスの秩序を再編する動きがあった。

イオニア人のポリスであるアテネ（アテナイ）では、前6世紀初め、（ 2 ）が貴族と平民の対立の調停に乗りだした。彼は、身体を抵当とする借財の禁止および負債の帳消しにより平民の奴隷への転落を防止するとともに、財産の多少に応じて国政参加の権利義務を定めた。しかし、貴族と平民の抗争はおさまらず、やがて平民の不満を背景に、貴族を抑圧して独裁政治をおこなう僭主があらわれた。僭主ペイストラトスは中小農民の保護をはかり、国富の充実に努めたが、その子の代になると、僭主政治は暴政に陥り倒された。前6世紀末には、（ 3 ）が改革に着手し、デーモス（区域）にもとづく10部族制や500人評議会を創設して民主政への一歩を踏み出した。また、僭主の出現を防ぐためにオストラキスモス／オストラシズム（陶片追放）の制度を定めた。

ドーリア人のポリスであるスパルタは、前8世紀以降、隣接区域を征服し、広大な土地を市民団に分配したため土地所有の平等が実現された。市民は、商工業に従事する周辺民であるペリオイコイや被征服先住民で隷属農民である（ 4 ）を支配した。スパルタでは1万に満たない市民がはるかに多数の（ 4 ）の上に君臨したために、（ 1 ）歩兵となる市民は幼年時代から厳しい訓練を課される軍国主義の生活様式がとられた。それとともに、貧富の差が拡大しないように、分配地の分割・譲渡が禁じられ、外国への出入りを認めないなど、厳しい鎖国体制がしかれた。

前5世紀はじめ、ペルシア帝国支配下のイオニアのポリスが反乱を起こし、これをアテネなどが支援したことをきっかけにペルシア戦争が始まった。アテネは、まず前490年に（ 5 ）の戦いでペルシアを退けた。前480年にはテミストクレスの指揮下に（ 6 ）の海戦でペルシア海軍を撃破し、翌年にはプラタイアイ（プラタイア）の戦いでスパルタと連合してペルシア軍を破った。ギリシア人は、ポリスの自由と独立を死守したものと誇った。

ペルシア軍の再来に備えて（ 7 ）同盟が結成されたが、アテネはやがて同盟の基金を自らの財政資金に流用し、盟主として他のポリスを威圧した。隆盛を誇るアテネでは、軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民も国政に参加するようになり、前5世紀半ば頃（ 8 ）の指導の下で徹底した民主政が実現された。^(d)

（ 7 ）同盟を率いるアテネが勢力を増すと、（ 9 ）同盟の盟主スパルタとの対立が深まり、前431年（ 9 ）戦争が起きた。アテネは、（ 8 ）の死後、政治が混乱し、ペルシアの支援を得たスパルタ

に敗れた。

スパルタの勢力は強まったが、そのためかえって軍国主義・鎖国体制が崩れ、やがてペルシアに後押しされた（ 10 ）が覇権を握った。しかし、それも長くは続かず、前4世紀前半のギリシアはペルシアに操られて対立・抗争を繰り返した。ポリス内部では土地を失う市民も多く、金で雇われて働く（ 11 ）が盛んに用いられたので、市民がポリスを自衛するという原則は失われた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 11 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、その中心部にあって、市場や集会が開かれた広場を何と呼ぶか、その名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、このような政治の仕組みを何と呼ぶか、その名称を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、このような政治の仕組みを何と呼ぶか、その名称を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、その中心となる機関で、成年男性市民の全体集会のことを何と呼ぶか、その名称を答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

14世紀に入ると、教皇権の動揺が生じた。教皇権の絶対性を主張した教皇ボニファティウス8世は、聖職者への課税をめぐる対立したフランス王フィリップ4世によって一時捕らえられた。さらに教皇クレメンス5世の時には、教皇庁は南フランスの（ 1 ）に移転した。約70年後に教皇がローマに戻ったのちも、（ 1 ）には別の教皇が立てられ、教会大分裂（大シスマ）となった。

教皇権の動揺は教会への批判を表面化させた。イングランドのウィクリフやベーメン（ボヘミア）の（ 2 ）は、聖書を中心とする信仰の原点への回帰を説き、宗教改革の先駆をなした。この二人は、ローマの教皇を正統として教会大分裂に終止符を打った（ 3 ）公会議で異端とされ、（ 2 ）は火刑に処された。しかし（ 2 ）派の人々は、教皇と皇帝を相手にその後10年以上戦った。

封建貴族の没落や教皇権の動揺とは対照的に、国王を中心として、ある領域を国土としてもった国家の統合を強化しようとする動きが明確になりはじめた。都市のなかにも、経済を活性化させ、独自の自治的市政を実現するものがあらわれた。王権の下にまとまりはじめた国家は、税収源として都市の富に着目し、都市は、市場の安定を期待して王権を支えた。

イングランドは、フランスのアンジュー伯がヘンリ2世としてプランタジネット朝を開いて以来、フランス西部にも領土を保持していた。しかしその子ジョン王は、フランス王フィリップ2世との戦争に敗れて大陸領土の大半を失った上に、国内で重税を課したために、1215年、貴族たちは王にせまって（ 4 ）を認めさせ、王権を一部制限した。エドワード1世の時代には（ 5 ）とよばれる身分制議会が招集され、14世紀半ばには、貴族院（上院）と庶民院（下院）の二院制となり、法律の制定や新課税には下院の承認が必要とされた。

カペー朝のフランスでは、はじめ王権はパリ中心の一部地域に限られ弱体であったが、フィリップ2世の時代から発展し、ルイ9世の頃には南フランスの諸侯に保護された異端の（ 6 ）派を征服し、王の支配は南フランスまで及びはじめた。教皇と対立したフィリップ4世は、1302年に聖職者・貴族・平民の3身分代表からなる（ 7 ）を招集し、王権の基盤の強化に成功した。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この事件の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、その説明として正しくないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. ルターは95か条の論題を提起し、贖宥状の販売を批判した。

イ. ツヴィングリは贖宥状の販売を批判し、カトリック諸州軍と戦って戦死した。

ウ. カルヴァンは予定説を唱え、職業労働に努めるべきであると説いた。

エ. ロヨラはザビエルらとイエズス会を設立し、カトリックの布教に努めた。

- 問4 下線部(c)に関連して、その説明として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア. イングランドでは、バラ戦争を収拾したヘンリ8世がテューダー朝を開き、王権強化に努めた。
 - イ. フランスでは、シャルル7世がオルレアン市を除く全領土を確保して百年戦争を終結に導き、王権の強化をはかった。
 - ウ. ドイツでは、皇帝カール5世が金印勅書を出し、七選帝侯による皇帝選挙制を定めて帝国の統一を進めた。
 - エ. デンマークでは、王女でノルウェー王妃であったマルグレーテが主導して、カルマル同盟（連合）を結成した。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

カリブ海のイスパニョーラ島西部は17世紀末に（ 1 ）領となったが、18世紀末からはここで独立運動がはじまり、1804年に黒人共和国（ 2 ）が独立した。（ 2 ）では独立と同時に黒人奴隷制が廃止された。その影響をうけてイギリスは奴隷貿易を、さらにのち植民地での奴隷制を廃止した。また当時黒人奴隷制を維持していたアメリカ合衆国やブラジルなどにも、大きな衝撃をあたえた。

大陸部のメキシコ以南の植民地では、1810～20年代にかけて多くの国が独立した。これらの独立は、ナポレオン戦争の影響でスペインの支配力が弱まったことをきっかけに、シモン=ボリバルらを指導者として達成された。その背景には、工業製品の輸出拡大をねらうイギリスや、1823年にアメリカ大陸とヨーロッパとの相互不干渉をとる（ 3 ）を発表したアメリカ合衆国が、諸国の独立を支持したことも影響していた。独立後のラテンアメリカ諸国では、独立運動の中心となった植民地生まれの白人で大地主層の（ 4 ）が、欧米諸国に原料や食料を輸出し、工業製品を輸入する自由貿易政策を採用した。その結果、ラテンアメリカ諸国自体の工業化は大幅におくれることになった。

19世紀末になると、欧米諸国での工業原料や食料需要の高まり、鉄道・汽船の普及、冷凍技術の発達などにより、ラテンアメリカから欧米への原料や食料の輸出が増加していった。こうしたなかアメリカ合衆国は、1889年以来（ 5 ）を定期的にひらき、ラテンアメリカへの影響力を広げようとしていた。

メキシコでは、19世紀後半より大統領（ 6 ）の独裁が続いてきたが、1910年自由主義者による革命がはじまり、農民運動も加わるなか、1917年に土地改革・勤労者の権利・政教分離などをうたった民主的憲法が制定された。このメキシコ革命は、その後のラテンアメリカ諸国の動向にも大きな影響をあたえた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）に当てはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、同じ年におこった出来事を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ワシントンが初代アメリカ合衆国大統領に就任
- イ. イギリスのピット首相の呼びかけによる第1回対仏大同盟の結成
- ウ. ナポレオン=ボナパルトがフランス皇帝に即位
- エ. アメリカ=イギリス戦争（米英戦争）が勃発

問3 下線部(b)に関連して、ブラジルは長らくポルトガルの植民地であったが、この根拠となった1494年に設定されたスペイン・ポルトガル間の海外領土分割条約は何か、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、ナポレオン戦争によりフランス軍がポルトガルに侵攻したことで、ポルトガルの宮廷はブラジルのリオデジャネイロに移った。リオデジャネイロ以前の宮廷の所在地で、16世紀には世界貿易の中心地であった街は何か、答えよ。

- 問5 下線部(d)に関連して、アルゼンチン出身の政治家・軍人で、ペルーの独立に尽力し、シモン=ボリバルとのグアヤキルでの会談ののちに引退した人物は誰か、答えよ。
- 問6 下線部(e)に関連して、国際分業体制のもとで原料・食料の供給地とされた地域で、単一の作物だけを栽培する農業や、特定の農産物や鉱産物の生産と輸出に依存する経済構造を指す言葉を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア. メスティーソ イ. モノカルチャー ウ. インディアス エ. プランテーション
- 問7 下線部(f)に関連して、この時期にワインや牛乳の腐敗を防ぐ低温殺菌法を開発するとともに、狂犬病の予防接種に成功するなど、伝染病の予防・治療に貢献したフランスの化学者・微生物学者は誰か、答えよ。
- 問8 下線部(g)に関連して、1948年に調印されたボゴタ憲章にもとづいて設立された、冷戦期にはアメリカ主導の反共産主義同盟として機能した国際機関は何か、答えよ。
- 問9 下線部(h)に関連して、この運動の指導者で、メキシコ南部で農民軍を組織した人物は誰か、答えよ。
- 問10 下線部(i)に関連して、この憲法に規定されていたにもかかわらず実施されていなかった農地改革を実行し、農民労働者の保護や労働組合の奨励、石油の国有化などをおこなった大統領を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア. カルデナス イ. トゥサン=ルヴェルチュール ウ. マデロ エ. ラス=カサス

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

洪秀全は、科挙に数回失敗した後にキリスト教に改宗、聖書を独自に解釈し、上帝会（拝上帝会）を組織し自らを上帝の子と称して布教活動を行った。カトリックやプロテスタントでは、父と子と聖霊は同質で不可分であるとする（ 1 ）説がとられるが、洪秀全の教義では父と子は異なるもので、自身は神の意思を実現する存在とされた。

上帝会は広西省で多くの信者を獲得して勢力を増したが、清朝の官憲との衝突が相次いだ。洪秀全は革命を決意し1851年1月に「（ 2 ）」をスローガンに挙兵、国号を太平天国と定めた。太平天国は広西省各地を転戦しつつ湖北省へ移動し漢陽、漢口、武昌を次々と攻略、さらに長江を下って南京を攻略した。太平天国はここで（ 3 ）制度を發布した。これは、土地や生活物資の分配、軍制に基づく農村の組織編制、宗教教育等を内容とする政策綱領であったが、実施には至らなかった。

その後、太平天国は、北京攻略を狙う北伐軍と、清軍に奪われた湖北・湖南省の奪還を目指す西征軍の2軍を起したが、北伐軍は北京攻略を果たせず1855年に清軍の反撃で壊滅した。一方、西征軍は勝利を重ねて湖北省から湖南省に進出し、ここで湘軍の迎撃を受け大打撃を蒙ったが、増援された羅大綱、石達開らにより持ち直して戦果を挙げた。

1856年、太平天国は内部抗争が激化したことにより弱体化した。陳玉成、李秀成ら新たな指揮官の活躍により、1858年の三河の戦いで湘軍を撃破するなど、太平天国はいったん勢力を回復したものの内部抗争が再発、さらに郷勇やアメリカ人ウォードの組織した洋式装備の中国人傭兵部隊に苦戦し、次第に追い詰められていった。

1864年の洪秀全の病死と首都陥落により、太平天国の乱は終結した。この乱により清朝の伝統的な正規軍である八旗の弱体化は明白となり、1860年頃より、西洋の軍事技術などを導入して清朝の国力増強を目指した近代化運動である（ 4 ）が、曾国藩、李鴻章ら漢人官僚を中心に推進された。この運動のスローガンは「（ 5 ）」、すなわち中国の儒学に基づく伝統的思想・文化・制度を維持しつつ、西洋の科学技術を利用するというものであった。この運動は一定の成果を上げたものの、守旧派との対立により次第に勢いを失って頓挫、それが清仏戦争や日清戦争の敗戦に繋がっていった。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）にそれぞれ適切な漢字4文字の語句を入れよ。

問2 下線部(a)に関連して、ここでいう上帝とは、『旧約聖書』における（ A ）を指す。空欄（ A ）に適切なものを、つぎのア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. ソロモン イ. ヤハウエ（エホバ） ウ. ダビデ エ. キリスト

- 問3 下線部(b)に関連して、この3都市は総称して(B)三鎮と呼ばれる。1926年には国民党に攻略され翌年に(B)国民政府が成立、3都市は合併し(B)市となった。その後、第一次国共合作の崩壊、日中戦争、国共内戦の動乱に伴う分割と再編を経て、現在の(B)市は人口1000万を超える、長江中流域の中心都市となっている。空欄(B)に適切な語句を、漢字2文字で答えよ。
- 問4 下線部(c)に関連して、洪秀全は南京を(C)と改名し、太平天国の首都に定めた。空欄(C)に適切な語句を、漢字2文字で答えよ。
- 問5 下線部(d)に関連して、湘軍は、湖南省湘郷県出身の曾国藩が編制した、地方官僚や名望家、農民などからなる郷勇(義勇軍)であった。さらに李鴻章は、曾国藩の命を受け安徽省で郷勇を募って(D)軍を編制し、湘軍とともに太平天国の打倒に活躍した。空欄(D)に適切な語句を、漢字1文字で答えよ。
- 問6 下線部(e)に関連して、ウォードは1860年に欧米人を将校とする傭兵部隊「洋槍隊」を組織、いったん解散後1861年に中国人兵を中心に再結成して上海防衛で活躍し、清朝から「(E)軍」の名を与えられた。空欄(E)に適切な語句を、漢字2文字で答えよ。